

東京湾赤潮・青潮調査

東京湾の赤潮の発生状況については、公共用水域水質測定計画に基づく調査、水質保全研究所による東京湾水質調査及び水質調査船「きよすみ」の巡視等による観測から把握しており、その結果は以下のとおりである。

また、赤潮の判定は海色が赤色ないし黄褐色又は褐色に変わっている海域を判定するとともに、水質データからの赤潮の判定は、表3-1で示される「赤潮の目安」を参考にしておこなっており、月別発生回数は表3-2のとおりである。

表3-1 赤潮判定の目安

海 色	オリーブ色 ~ 褐色
透明度	1.5 m 以下
クロロフィル a	50 μ g / l 以上
D O 飽和度	150 % 以上
p H	8.5 以上

表3-2 月別赤潮発生回数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
調査回数	3	5	6	7	6	4	4	4	3	4	5	4
発生回数	0	1	1	4	4	2	1	0	0	2	0	1

青潮については、水質保全課と水質保全研究所が共同で青潮発生時に、随時現場調査を行っており、10年度の青潮発生状況及び経年推移は表3-3及び表3-4のとおりである。

表3-3 平成10年度青潮発生回数

発生日	発生水域（最大時）	漁業への被害等
7/13 ~ 7/14	船橋港内、千葉中央港内、市原港内	なし
7/17	船橋港内、千葉中央港内、三番瀬	"
8/31 ~ 9/2	船橋港内、千葉中央港内、三番瀬、市川港内	"
9/9 ~ 9/10	船橋港内、千葉中央港内	"

表3-4 青潮発生の推移

年	5	6	7	8	9	10	6年間平均
回数	6	7	2	3	2	4	4回
述べ発生日数	11	27	12	11	8	8	12.8日